

# 1回戦

2013年度秋季リーグ戦  
第4週 10月9日  
2勝4敗

## 好機得るも一打出ず、

## 今永4敗目

# 駒大2 - 4 拓大



【左】4点を追う展開で適時三塁打を放った齋藤



【左】2点目の適時打を放つ下川



制球が乱れ、5回4失点を喫した今永

駒大	000	002	000	2
拓大	013	000	00X	4

	打安点
(9)砂川	300
(7)齋藤	311
(6)下川	311
(8)江越	410
(5)福山亮	400
(2)木下	410
(3)西村凌	410
DH長谷川	200
PH柳原	110
PR松本	000
(4)前田	310
PH篠原	110
計	2872

	回	打安責
●今永	5	2054
中高	1	510
橋	2	820

2回、先発・今永昇太(経2)が本塁打を浴び先制される。3回には2死満塁から走者一掃の適時二塁打を放たれ4点のリードを許す。4点を追う打線は6回に2点を返すが、その後は好機で1本が出ず2-4で敗れた。

「相手打者が一枚上手だった」と今永は振り返った。2回、無死走者無しから相手4番・高橋弘樹(4年II)拓大紅陵)に一発を浴び先制点を許す。続く3回には「4番の前にランナーを置きたくなかったが実行出来なかった」と3番打者を四球で歩かせ、2死満塁で再び高橋との対戦を迎えた。この場面でも直球

を痛打され、左中間を破られると3人が生還した。主将の松本卓兵(地4)は、「ピンチで粘りきれていない。持っているすべての実力発揮できるようにならないとこれから勝っていけない」と今永について語った。

打線は6回、齋藤導久(法3)の右越適時三塁打などで2点を返す。7、8、9回と好機を作るがあと1本が出なかった。だが、好材料もある。正捕手・木下祐志(営3)が怪我から復帰した。この日が秋のリーグ戦は初出場となったが、怪我の影響は感じさせなかった。

今日の敗戦で後が無くなった。もう1度優勝争いするために、明日から1つも落とせない戦いが始まる。

文II 山本春熙

写真II 山本春熙

五十嵐秋音